

<福島県知事賞>

税で支え、助け合う社会

白河市立白河中央中学校 3年 田村 絢

私たちは日常のなかで沢山の種類の税金を払っています。買い物をしたときに払う消費税、働いて給料をもらうときに払う所得税、自動車を持っている人が払う自動車税など、税金にはさまざまな種類があります。種類が多ければより多くのお金を払わなければなりません。税金の制度がなくなれば、私たちのお金は今までより多く貯まり、欲しい物を自由に入れて経済が回っていくと思います。しかし、税金は無くならずが増えていく一方なのはなぜなのでしょう。

私が払っている税金は主に消費税です。私が小さい頃は駄菓子屋で買い物をするときには十円や百円のもの、区切りが良く計算が楽で、小銭一枚で買うことができました。しかし、今の社会は消費税が八パーセント、十パーセントです。計算が難しくなり、小銭一枚では足りなくなりました。やはり、私は税金が無く、楽に買い物ができるようになればいいと思います。

私たちが払う税金はどこで使われているのでしょうか。そう疑問に思い、インターネットで調べてみると、高齢者への年金、病院などの医療、教育、警察などに使われていることが分かりました。少子高齢化が進んでいる今、私たち学生が社会人になると高齢者の割合が今よりさらに増えるはずで、そうなれば、所得税の金額が高くなります。私たち一人あたりの負担が大きくなり、日本の経済はうまく回っていくのでしょうか。私は税金を無くして、未来の日本の経済に託してみてもうどうだろうかと考えました。

税金が無くなれば所得税が無いので収入が高くなります。コンビニでは消費税が無いので、おにぎりなどは百円で買えます。いいことばかりではないでしょうか。しかし、病院での診察に高いお金がかかり、警察を呼ぶにもお金がかかります。学校では、机やイス、教科書などが全て自分で払うことになります。地震などでガタガタになっ

た道路は整備されません。今まで年金で過ごしてきた高齢者は自分の力では生活することができなくなります。いいこともあるけれど、不便なことがとても多くなります。税金の無い暮らしを考えると、お金を多く払うだけで豊かな生活になるのだと、考え方が変わりました。

日本は税金に支えられて成り立っていると言ってもおかしくはないでしょう。税金は私の中で良いイメージではありませんでしたが、税金が無ければ不便が多くなることに気づき、税金の大切さを知ることができました。今後は今よりも税率が高くなることが予想されます。しかし、税金で支え、助け合っていくことが必要だと知った今、仕方ないと思うのではなく、感謝して払うことができます。私たちの周りには沢山の税金があります。今ある環境に感謝して、税金についてより詳しく知り、社会に貢献していきたいと思います。